

いろいろな原因でストーブ火災は起こります！

🔥 ストーブの清掃がされておらず空気の取り入れ口付近にホコリ等が溜まっていると不完全燃焼を起こし、炎が吹き出す可能性があります！



🔥 誤ってガソリンを給油したストーブを使用するとガソリンが溢れ出し、激しく燃焼する可能性があります！



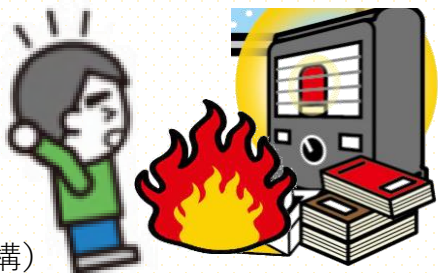
🔥 ストーブの前にスプレー缶を置き忘れてしまうと、熱で缶が破裂し、火災につながる可能性があります！



🔥 燃料を給油する時にタンクのキャップがしっかり閉まっておらず、ストーブに燃料がこぼれてしまい、火災になる可能性があります！



🔥 ストーブを付けたまま寝てしまったり、付近で洗濯物を乾燥させたりして火災になる可能性があります！



(映像出典：独立行政法人
製品評価技術基盤機構)

防ごう！ 冬の火災！

※危険性を**動画で確認**しましょう！

(製品を正しく使用し、
安全な冬を過ごしましょう！)



★ストーブ火災を防ぐポイント！



こまめに**清掃**する！



燃料別に決められた容器に入れ、**管理を徹底**！



ストーブの前に**スプレー缶**を置かない！



給油時は必ず火を消し、タンクのキャップはしっかり**閉まっているか確認**を！



ストーブの周辺に可燃物を**絶対に置かない**！



外出時や就寝時は**必ず消す**！



津市でもストーブ火災は**毎年必ず**起こっています。注意しましょう！

火を使わないコタツですが・・・

 火を使わないコタツですが、ヒーター部分に可燃物が接触し、火災になる可能性があります！



★コタツ火災を防ぐポイント！



こたつの中で**洗濯物を乾燥させない！**



こたつ布団や座椅子を**押し込まない！**



ヒーター部分はこまめに**清掃**する！



(出典：独立行政法人
製品評価技術基盤機構)



カーテン一枚で防げます！収れん火災

 太陽光がレンズや鏡により反射・屈折して1点に集まることを収れん現象といい、付近に可燃物があると火災になる可能性があります。

太陽の高度の低くなる冬場に多く発生する傾向にあります！



★収れん火災を防ぐポイント！



外出する際は、**カーテンを閉めましょう！**



太陽光が**差し込む範囲**には鏡やガラス玉、水の入ったペットボトルは**置かない**ようにしましょう！

(出典：東京消防庁)



喫煙マナーを守って、たばこ火災を防ぎましょう！！

 たばこ火災はすぐに燃え上がらず、しばらく無炎燃焼（炎を出さずに燃え広がる）を続けてから出火するのが特徴です。

その原因の多くは喫煙者の不始末によるものです！

空気が乾燥する冬の時期は特に注意しましょう！



★たばこ火災を防ぐポイント！



吸い殻を灰皿などに**ためない！**



吸い殻を捨てる時は水をかけ**完全に消えていることを確認**する！



たばこを吸いながら**ウロウロしない！**（火種を落とさない）



寝たばこは**絶対**にしない！



(出典：総務省消防庁)



お問合せ先：津市消防本部予防課 059-254-0354

